

No.2

かんきょう ニュース

☆隠岐の島町のリサイクル率を知っていますか？

隠岐の島町のリサイクル率は平成29年度の調査結果では**6.1%**と
なっています。この数値は高いのか低いのか…

結論から言うと、極めて**低い数値**と言えます。県内の
19市町村中**18位**、県内1位の雲南市は51.4%、
知夫村は20.6%となっており、いかに隠岐の島町の
ごみが資源化へ回っていない状況なのか分かります。

リサイクル率＝総資源化量（缶類、びん類、ペットボトル、古紙類等）÷総排出量×100

簡単！
無料収集！
ごみの減量化！



資源化でごみを削減・ごみ処理費用も削減で環境にもお財布にもエコを心掛けよう！

☆資源ごみの出し方のおさらい！（詳しくは「ごみと資源ごみの分け方・出し方」で確認！）

缶類（アルミ/スチール）・ペットボトル・びん類

フタを外して洗い**指定袋**へ

古紙（新聞/雑誌/段ボール）

紐で縛る

集積所へ排出（いずれも**無料収集**）

ポイント！

- ・洗淨しても汚れが残ってしまうペットボトルは可燃ごみで出してください。
- ・ペットボトルのラベルを剥がす必要はありません。

ポイント！

- ・新聞とチラシは必ず分けて出してください。
- ・リサイクルできない古紙があります。詳しくは全戸配布している「ごみと資源ごみの分け方出し方」の裏面を確認してください。

資源ごみ袋の利用について（お願い）

近年、隠岐の島町のリサイクル率は年々減少傾向にあります。資源ごみ袋の使用状況が年々増加しております。

理由の一つとして考えられるのは、無料であるがために資源ごみ袋が目的外使用されているケースです。実際に確認もされており、在庫の不足から必要としている方に行き渡らなくなってしまうます。

資源ごみ袋の利用は資源ごみ出し用のみとしていただき、目的外使用はお止め下さい。

また、各所に置かれている資源ごみ袋を一度に多量に持ち帰ることもお控えくださいますよう併せてお願いいたします。

☆海岸漂着ごみについて

先頃、大阪で開催されました「G20 サミット」でも重要議題となっております、「海洋プラスチックごみ」ですが、本町の海岸におきましても決して他人事ではありません。

離島である本町は、周りを海に囲まれているがゆえ、海岸には数えきれないほどの様々な漂着ごみが打ち寄せられています。

流木やその他の木材にプラスチックウキ、発泡スチロール、ロープ、網などの漁具や籠、ポリタンク、ペットボトルなどです。当然国外からの物もあれば、国内の物もあります。



町では海岸漂着物対策推進事業補助金により漂着ごみの回収・運搬・処分の実施、また各地区のボランティアによる回収も行っていますが、ひとたび海が荒れば同じように漂着します。

こうした状況の中、G20 で共通の世界ビジョンとして呼びかけられた「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」により、海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することを目指しています。これからは、ごみを出さないだけでなく、ごみの元となる物の生産自体も考えなければならない時代になっています。



海洋プラスチックごみ対策って？

環境省は令和元年5月31日に「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」を策定しています。その中では、日々のごみ出しや分別収集への協力、不法投棄やポイ捨ての禁止、漁具等の海洋流出の防止など個人レベルの取組も記載されています。また各地区で実施される海岸・河川周辺の清掃活動の実施とその更なる展開も重要であることが書かれています。

世界規模の問題ととらえてしまうと中々取り掛かりづらい問題ではありますが、一人ひとりができることから始めてみましょう。

お問い合わせ先：隠岐の島町役場環境課

住所：隠岐の島町岬町飯ノ山1-2 島後清掃センター内

電話：2-8565 FAX：2-6305